



## 第拾卷第八號



たてそむる志こゝろざしだにたゆまずば

龍たつのあぎとの玉たまもとるべし

(野之口正隆)

怠おこたらず行ゆかば千里ちさとの道みちも經いん

牛うしの歩あゆみのよし遅おそくとも

(讀人不知)

うきことうきことのなほ此上このうえにつもれかし

限かぎりある身みの力ちからためさん

(讀人不知)